

1 8 学校教育

2 <1. 現状と課題>

3 【教育内容の充実】

左右で対応

は拡大しており、児童生徒と向き合う時間を確保する必要があります。

児童生徒の増減の状況は各地域により異なることから、市内には大規模校や小規模校など、規模の違う学校が併存しています。学校の著しい大規模化や小規模化は、学習指導面だけでなく、学校運営面においても、より多くの課題を生じさせる恐れがあることから、地域や保護者の意見を聞きながら、学校規模及び配置の適正化に向けて計画的に対応策を講ずる必要があります。

<2. 施策の方向>

4 施策1 教育内容の充実

5 自立して、主体的に社会に関わることができる子供を育成するため、確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体づくりを進めます。

当施策における主な取り組み

- ◆ 学習指導要領を踏まえた主体的な学習の推進
- ◆ ICTを活用した教育の充実
- ◆ 小中一貫英語教育の推進
- ◆ 主権者教育の推進
- ◆ 道徳教育の推進
- ◆ 体力の向上・健康教育の推進

施策2 ニーズに応じた支援の充実

児童生徒の複雑かつ多様な課題に対応できるよう、特別支援教育の推進、不登校児童生徒や帰国・外国人児童生徒への支援の充実を図ります。

◆ 市立小・中学校の規模・配置の適正化

- ① 基本施策（分野）の名称を示しています。
- ② 当基本施策を推進する必要性・根拠として、施策を取り巻く現状と課題を整理しています。
- ③ 右側の「施策1、2・・・」に対応する現状と課題を施策ごとに記載しています。
- ④ 施策ごとに今後10年間で推進していく取組について、目的（～のため）と取組内容（手段）（～する）を整理して記載しています。
- ⑤ 施策ごとに、施策を推進するために実施する主な取り組み（事業）の例を「当施策における主な取り組み」として記載しています。